

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声史料の整理と活用について

メタデータ	言語: ja 出版者: 沖縄移民研究センター 公開日: 2023-05-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 早瀬, 千明, 原, 裕昭, 糸数, 建, 與那原, 千晴, 城間, 明秀 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24564/0002019825">https://doi.org/10.24564/0002019825</a>

## 沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀

### I. はじめに

沖縄県立図書館では、毎年10月30日の世界のウチナーンチュの日に関連する企画展を開催している。2020年はボリビア移民120周年を記念した「ボリビアにおける沖縄移民」<sup>1)</sup> (以下、ボリビア展と略)、2021年は「小説『ノロエステ鉄道』とブラジル・カンボグランデの沖縄県系人」<sup>2)</sup> (以下、ブラジル展と略) という企画展を開催した(画像1)。この二つの企画展では、沖縄県を代表する芥川賞受賞作家・(故)大城立裕<sup>3)</sup> (以下、大城と略)(画像2)が収集した沖縄県系移民調査資料を活用させていただいた。

沖縄県立図書館は、生前の大城から書籍や直筆原稿など約10,000点の資料を寄贈いただき、2010年に「大城立裕文庫」を開設した<sup>4)</sup>。惜しくも、2020年10月の展覧会開催中に大城が他界し、資料についての見識を本人から伺うことが出来なくなってしまったことは、本当に残念なことであった。

沖縄では周知のことであるが、大城は小説家であると同時に、優秀な文化行政官としての側面を持っていた。沖縄が祖国復帰を果たした翌年の1973年に、屋良朝苗知事と県議会議員団の海外移住地視察に同行して、沖縄県系移民の調査と資料収集を行った。また、その5年後の1978年にも、平良幸市知事の特命を受けて、海外に在住する沖縄県系移民一世の体験記録の採取と、海外で記録された移民関連資料の調査を実施した。それまで、琉球政府時代に政府高官による海外視察はあっても、資料収集目的の渡航は、この調査が沖縄県においては初めてのことだった。沖縄県は第二次世界大戦前から多くの移民を排出した



画像1 世界のウチナーンチュの日に関連する  
企画展ポスター



画像2 大城立裕  
(2010年文庫開設時)



表1 海外沖縄県系人移住地調査収集資料数

国名	1973年		1978年	
	文献資料	音声資料	文献資料	音声資料
アメリカ合衆国※	100	5	6	5
アルゼンチン		3	42	17
ブラジル		5	3	11
ボリビア		6	13	7
ペルー		2	22	10
計	100	21	86	50

※アメリカ合衆国にはハワイを含む。

『沖縄史料編集所紀要』創刊号，第4号より作成。

への直接インタビューにより体験談を記録するという面接調査（音声記録）に力を入れた。また，文献資料については現地社会への同化，教育，文化活動等も視野に入れて収集した。

この二度の調査旅行で大城が収集した移民の音声資料はカセットテープ71本（124点）におよび，今では聞く事ができない初期移民の声を伝える貴重な資料となっている（表1）。この音声資料の原資料（カセットテープ）は，沖縄県教育庁文化財課史料編集班で適切に保管されており，2020年にデジタル化された。その後，2021年から県立図書館はその効果的な活用に向けて調査・整理を進めており，その一部を企画展で紹介しながら，研究者や一般県民に，この音声資料の存在の周知に取り組んできた。

### Ⅲ. 公開活用

県立図書館が実施した2021年のブラジル展では，この大城が収集した音声資料の中から豊見城村上田出身の大城カメ（画像4）の音声を公開した。大城カメは1908年の第一回笠戸丸移民で，ブラジルに初めて渡った沖縄県系移民の一人である。ブラジル移民をテーマにした小説『ノロエステ鉄道』は，この大城カメの体験から着想を得たと，後に大城は語っている<sup>7)</sup>。大城はこの二度の調査から刺激を受けて南米移民を題材とした小説を5本執筆した。

大城カメの音声資料は，当館HP上のオンライン企画展「小説『ノロエステ鉄道』とブラジル・カンボグランデの沖縄県系人」<sup>8)</sup>において，現在も視聴できるようになっている。さらに，2022年の第7回世界のウチナーンチュ大会の関連イベントとして開催した企画展「ルーツを探して！——世界のウチナーンチュの足跡」の中で，展示コーナーを設けて，大城が収集した沖縄県系移民音声資料を一部公開した<sup>9)</sup>。

今後は，館内の郷土資料室内において，沖縄県系移民音声資料として視聴できるように準備を進めている。



画像4 No.143「カンポグランデ / 笠戸丸生存者の大城カメさん(89歳)」  
『大城立裕撮影スライドフィルム3 ポリネシア・南米・ハワイ1978』  
資料ID: 1009595313

#### IV. 沖縄県系移民音声資料の整理

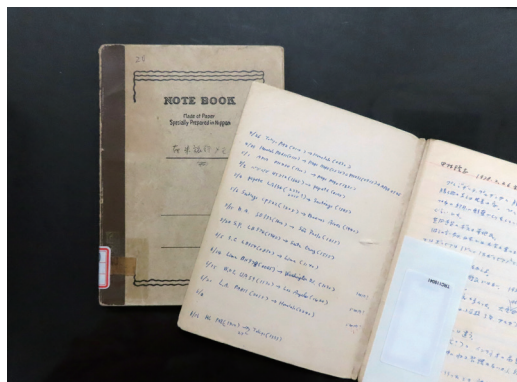
沖縄県系移民音声資料の音源は、片面60分の磁気テープ(カセットテープ)に録音されたものである。

大城が採録した場所は、県人会会議室、個人自宅、移動車中、市場散策中など様々な場所が想定される。録音の状態は良いとは言えず、一世の音声に被さるように、様々な生活音が録音されている。まさに未編集の生音声である。また、話者の多くは戦前に渡航した沖縄県系人で、しまくとぅばを主言語としているため、大城も時にはしまくとぅばで語りかけている。そのため、整理するための内容聴取では、しまくとぅばの得意不得意で粗密が生じていると思われる。この124点の沖縄県系移民音声資料の国別の内訳は、アメリカ(ハワイ・ロサンゼルス・ワシントン)22点、アルゼンチン35点、ブラジル26点、ポリビア25点、ペルー16点となっている。

表2は、前段で紹介した大城採録の沖縄県系移民音声資料を県立図書館AV資料として登録するにあたって、シリーズ名、資料名/副題(書名)、話者/聞き手(責任表示)、採録形式/採録年月日、内容/採録時間について、下記の凡例に沿って整理したものである。

- 1) シリーズ名は「沖縄史料編集所移民聞き取り調査」とし、通し番号を付して巻号とした。
- 2) 巻号は採録年月日の時系列で並べた。1973年と1978年で、訪問した調査地の順番が異なるため、国・地域分類内での時系列になるように整理した。
- 3) 資料名は共通タイトルとして、「沖縄県系移民音声資料」を頭に付した。
- 4) 資料名の国・地域区分を「〇〇編」とし、アメリカ(ハワイ、本土)、アルゼンチン、ブラジル、ポリビア、ペルーの5つに分類し、さらにアメリカについては、ハワイとアメリカ本土(ワシントン、ロサンゼルスなど)で区別した。

- 5) さらに、2つ以上の音声資料で、内容が続いている場合は同じ番号を付し、枝番で録音の順番を示した。
- 6) 副題は、沖縄県文化財課史料編集班で保管しているカセットテープのタイトルを記載している。今後、デジタル化された音声資料を公開するに当たって、生の音源に迎れるように配慮した。
- 7) 責任表示については、AV資料の場合、話者（話し手）と聞き手がいる。その両方を表示したが、話者が3名以上いる場合には、主な話者だけを記載し、それ以外は「他〇名」と表示した。'//'で区切って（聞き手）を表示している。また、録音時に、貴重なインフォーマントとして案内人が同行している場合は、話者とは別に（案内人）として聞き手の後に記名した。
- 8) 採録形式は、①インタビュー、②座談会、③歓迎会、④講演会、⑤再録、⑥朗読、⑦報告会に分類した。①聞き手の大城が話者と対談、もしくは質問形式の場合は「インタビュー」とし、②複数で同一話題について語る場合は「座談会」とした。③会食を交えたり、歓迎会での挨拶などは「歓迎会」とした。その他④講演会、⑤再録（唄やラジオ放送などの録音）、⑥朗読（資料の音読）、⑦報告会（事業報告）がある。
- 9) 採録年月日は、『大城立裕創作ノート』（画像5）などから判明した調査地の訪問日を参考にした。
- 10) 内容は、[体験談][人物伝][論説][挨拶][雑談][調査][唄][ラジオ放送]に分類した。また、主たる話者は【 】で表記し、話者や内容が変わる場合は改行し、'/'の後に（ ）で時間を表示し、話者と内容を記載した。ただし、話者が明確な時は省略した。
- 11) 採録時間は、秒は切り上げて表示した。



画像5 『大城立裕創作ノート』19  
資料ID：1005005143

表2 沖縄県系人移民音声資料一覧

シリーズ名：沖縄史料編集所移民聞き取り調査

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
1	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 1-1 /52A_ハワイ移民のアプ ローチ(座談会)ホノルル	知念湧一/崎原貢/他 5名//(聞き手)大城 立裕	座談会 /1973	[体験談]沖縄にとって移民とは 何であったかについての討論。 /58分
2	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 1-2 /52B_ハワイ移民のアプ ローチ(座談会)/木村雪子_ ホノルル	知念湧一/崎原貢/木 村雪子/他5名//(聞 き手)大城立裕	座談会・イン タビュー /1973	アメリカ・ハワイ編1-1の続 き。[体験談]沖縄にとって移民 とは何であったかについて討 論。 /(44:56)【木村雪子】[論説]社 会学的な移民論。 /57分
3	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 1-3 /53A_木村雪子/ハワイ島座 談会/大久保清(1)_ハワイ	木村雪子/崎原貢 /[大城立裕]親族 //(聞き手)大城立裕	インタビュー ・座談会 /1973	アメリカ・ハワイ編1-2後半の 続き。【木村雪子】[論説]戦争 花嫁の調査と先島地域における 移民について。 /(19:58)[雑談]ハワイ島の 大城立裕親族の会話。 /64分
4	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 2 /54A_大久保清(2)島袋真勢 _ハワイ	大久保清//(聞き手) 大城立裕	インタビュー ・座談会 /1973	【大久保清】[体験談]日系移民 資料の収集と保存について。 /(49:31)[雑談]大城立裕親族の 食事会。 /61分
5	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 3 /54B_大久保清(2)_ハワイ	島袋真勢//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1973	[体験談]14歳でハワイの砂糖耕 地に入植してから現在までの労 働と暮らしについて。 /62分
6	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 4 /53B_木村雪子/ハワイ島座 談会/大久保清(1)_ハワイ	話者不明/大城立裕 親族/大久保清//(聞 き手)大城立裕	インタビュー ・座談会 /1973	アメリカ・ハワイ編3-1の続 き。[体験談]移民時代・苦悩の 歴史。 /(27:07)[雑談]大城立裕親族の 会話。 /(35:40)【大久保清】[論説]収 集資料に基づいてハワイ移民に ついての考察。 /64分
7	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 5 /55A_比嘉静観_ハワイホノ ルル	比嘉静観(本名：比 嘉賀秀)//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1973	[体験談]黎明教会活動につい て。ハワイ全島を廻り伝道活動 をする一方で、職業紹介や人生 相談など行った。 /25分
8	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 6-1 /01A_比嘉静観_ハワイ	比嘉静観(本名：比 嘉賀秀)//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1978.4.27	[体験談]メソジスト教会の牧師 に至る経緯と沖縄組合(NM会) の立ち上げについて。 /65分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
9	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 6-2 /01B_比嘉静観_ハワイ	比嘉静観(本名:比嘉賀秀)//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.4.27	アメリカ・ハワイ編6-1の続き。[体験談]ペスト菌予防接種の活動が認められて瑞宝章を頂いた話や、キリスト教を通じて伊波普猷との交流について。 /30分
10	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 7-1 /02A_安里貞雄_ハワイ	安里貞雄/比嘉太郎//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.4.28	[体験談]比嘉太郎と共に救援会を立ち上げた日の話。 /65分
11	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 7-2 /02B_安里貞雄_ハワイ	安里貞雄//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.4.28	アメリカ・ハワイ編7-1の続き。[体験談]比嘉太郎と共に救援会を立ち上げた日の話。 /11分
12	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 8-1 /50A_大久保清ほか_ハワイ	大久保清/島袋真勢/他3名//(聞き手)大城立裕	座談会 /[1978.6.23]	[雑談]食事会の中で、日系移民の意識の変化や移民論を語る。 /64分
13	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 8-2 /50B_大久保清ほか_ハワイ	大久保清/島袋真勢/他3名//(聞き手)大城立裕	座談会・再録 /[1978.6.23-24]	アメリカ・ハワイ編8-1の続き。[雑談]食事会の中で、日本標準語の普及と方言について語る。 /(39:25)[ラジオ放送]アメリカ・ハワイラジオ番組KZOOの録音。 /56分
14	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 9 /番号なしA_小橋川家_ハワイ	大久保清/島袋真勢/他1名//(聞き手)大城立裕	インタビュー /[1978.6.24]	【大久保清】[論説]自身の収集資料や移民研究概要を語る。 /49分
15	沖縄県系移民音声資料 アメリカ・ハワイ編 10 /番号なしB_小橋川家_ハワイ	[野原小橋川]//(聞き手)大城立裕	歓迎会 /1978.6.24	[雑談]大城立裕の親族である小橋川家で食事会。 /49分
16	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 1-1 /51A_仲村信義, 幸地新政ほか_ハワイ/ロサンゼルス	仲村信義//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1973	[体験談]太平洋戦争勃発で、強制立ち退き・転住させられた経験を語る。 /65分
17	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 1-2 /51B_仲村信義, 幸地新政ほか_ハワイ/ロサンゼルス	仲村信義//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1973	アメリカ本土編1-1の続き。[体験談]移自身の住の動機や渡米後に従事した職業、戦後に幸地新政と沖縄救援運動に尽力した話などを語る。 /43分
18	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 2-1 /46A_ペルー/ワシントン	話者不明/ワシントン国立公文書記録管理院(NARA)の職員[Jenny]//(聞き手)大城立裕	インタビュー(英語) /[1978.6.13-15]	前半4分50秒はペルー・カニエテにおける取材の様子で話者不明。 /(04:50)[調査]戦後沖縄行政文書(USCAR文書)のマイクロ化に関する要請。 /65分



巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
19	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 2-2 /46B_ワシントン	ワシントン国立公文書記録管理院(NARA)の職員[Jenny]//(聞き手)大城立裕	インタビュー (英語) /1978.6.15	アメリカ本土編2-1の続き。[調査]戦後沖縄行政文書(USCAR文書)のマイクロ化に関する要請。 /18分
20	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 3 /47A_幸地新政・仲村信義_アメリカ	仲村信義/幸地新政 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.19	[人物伝]尋常中学校ストライキ組の西銘徳太(五郎)の生涯。 /40分
21	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 4-1 /48A_小野美佐子_アメリカ	小野美佐子(旧姓:与座) //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.19	[体験談]先に渡米していた大叔父を頼って、1958年にロサンゼルスへ渡航し、寿司職人と結婚して永住権を取得した話。 /65分
22	沖縄県系移民音声資料 アメリカ本土編 4-2 /48B_小野美佐子_アメリカ	小野美佐子(旧姓:与座) //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.19	アメリカ本土編4-1の続き。[体験談]沖縄出身移民の結束力や永住権を取得する意味について語る。 /65分
23	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 1-1 /61A_沖縄座談会_アルゼンチン_ブエノスアイレス	佐久川紀昌/金武蒲戸/儀間康英/知念繁雄/新垣善幸 //(聞き手)大城立裕	インタビュー・座談会 /1973. [4]	[体験談]各人の移住動機や体験を語る。 /(42:25)座談会形式で、移住地での生活、白人優先主義について語る。 /64分
24	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 1-2 /61B_沖縄座談会_アルゼンチン_ブエノスアイレス	佐久川紀昌/金武蒲戸/儀間康英/知念繁雄/新垣善幸/新城清林 //(聞き手)大城立裕	座談会・インタビュー /1973. [4]	アルゼンチン編1-1続き。[体験談]大正期の移民の生活や県系人洗染業従事者数、契約労働の問題等について語る。 /(18:30)【新城清林】[体験談]1915年に父の呼寄で渡航し、精肉工場で働き、その後カフェ店を開業した。 /26分
25	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 2-1 /62A_野々垣領事, ラガーナ・らぶらた報知・在亜沖縄連合会_アルゼンチン_ブエノスアイレス	野々垣/[ドメニコ]ラガーナ //(聞き手)大城立裕	インタビュー・朗読 /1973. [4.9]	【野々垣領事】[調査]移住社会の相互扶助と職業選択について。また戦後の戸籍整備には問題が多い。さらに賀集九平、ラテンアメリカ協会やアルゼンチン拓殖協同組合の本を資料として紹介。 /(37:27) [朗読]沖縄連合会創立の概観資料の音読。 /(44:20) 【ラガーナ】 [論説]移民の言語について。 /64分
26	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 2-2 /62B_らぶらた報知・在亜沖縄連合会_アルゼンチン_ブエノスアイレス	[ドメニコ]ラガーナ/在亜沖縄連合会 //(聞き手)大城立裕/平良幸市	インタビュー・歓迎会 /1973. [4.9]	アルゼンチン編2-1の続き。 【ラガーナ】 [論説]移民視点の日本語研究。 /(16:30) 【在亜沖縄連合会歓迎会】 [挨拶] /(41:03) 【平良幸市】 [挨拶] / 56分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
27	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 3-1 /63A_亜拓座談会_アルゼンチン_ブエノスアイレス	勢理客宗久/アルゼンチン拓植協同組合(亜拓)会員//(聞き手)大城立裕	インタビュー ・座談会 /1973. [4.11]	【勢理客宗久】[体験談]1930年マニラ丸で自由移民として渡航し、蔬菜園を経営した。 /(15:33)【亜拓】[体験談]勢理客宗久を中心に白人優先の移民法について語る。 /65分
28	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 3-2 /63B_亜拓座談会_アルゼンチン_ブエノスアイレス	勢理客宗久/アルゼンチン拓植協同組合(亜拓)会員//(聞き手)大城立裕	座談会 /1973. [4.11]	アルゼンチン編3-1の続き。[体験談]アルゼンチンにおける沖縄県系人の職業選択について。 /59分
29	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 4-1 /03A_仲村正喜ほか_アルゼンチン_ブエノスアイレス	崎原朝一/花城テロコ/知念敏雄/宮城輝一/仲村正喜/米須清周//(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.5.6	[体験談]座談会形式で現地での文化活動について語る。野村流亜国支部の創始者である安里亀栄について、1936年当時の写真を見ながら語る。 /63分
30	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 4-2 /03B_仲村正喜ほか_アルゼンチン_ブエノスアイレス	崎原朝一/花城テロコ/知念敏雄/宮城輝一/仲村正喜/米須清周//(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.5.6	アルゼンチン編4-1の続き。[体験談]二世たちはウチナーンチュであり、日本人であるというアイデンティティ問題について。 /50分
31	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 5-1 /04A_日本文芸会の人たち_アルゼンチン_ブエノスアイレス	日本文芸会員//(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.5.6	[雑談]日本文芸会のメンバーと夕食を取りながら、社会世相に関する話。 /65分
32	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 5-2 /04B_日本文芸会の人たち_アルゼンチン_ブエノスアイレス	日本文芸会員//(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.5.6	アルゼンチン編5-1の続き。[雑談]日本文芸会のメンバーと夕食を取りながら、文化面について語る。 /65分
33	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 6-1 /05A_幸地加那_アルゼンチン_ブエノスアイレス	幸地加那/幸地繁雄/幸地繁正//(聞き手)大城立裕/(案内人)新垣善太郎	インタビュー /1978.5.7	【幸地加那】[体験談]戦前のペルー移民としての体験。終戦直後に帰国し、ペルーに再渡航できず、アルゼンチンに移住したと語る。 /61分
34	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 6-2 /05B_幸地加那_アルゼンチン_ブエノスアイレス	幸地加那/幸地繁雄/幸地繁正//(聞き手)大城立裕/(案内人)新垣善太郎	インタビュー /1978.5.7	アルゼンチン編6-1の続き。【幸地加那】[体験談]戦後アルゼンチンで、雑貨商、レストラン経営、ホテル業、菓子販売店など多角事業経営で成功したと語る。 /61分
35	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 7-1 /07A_知念繁雄・米須清周_アルゼンチン_ブエノスアイレス	知念繁雄夫妻//(聞き手)米須清周/大城立裕	インタビュー /1978.5.7	【知念繁雄】[体験談]自由移民として洗濯屋で修行したこと。アルゼンチンの沖縄海外協会の設立について語る。 /64分

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
36	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 7-2 /07B_知念繁雄・米須清周_ アルゼンチン_ブエノスア イレス	知念繁雄夫妻//(聞き手)米須清周/大城立裕	インタビュー /1978.5.7	アルゼンチン編7-1の続き。 【知念繁雄】[体験談]崎間麗徳、麗達兄弟、仲村渠恒郎、仲兼久仲助などのメンバーで、沖縄海外協会亜国支部を発足させたが、戦時中に解散したと語る。 /61分
37	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 8-1 /06A_新垣喜盛・玉城盛善_ アルゼンチン_ブエノスア イレス	新垣喜盛//(聞き手)玉城盛善/大城立裕	インタビュー /1978.5.7	【新垣喜盛】[体験談]沖縄県系移民の最初はブラジルからの転住者だと言われている。職業も先輩移住者が洗濯業や菜園業を担っていたので、技術習得が容易だったと語る。 /65分
38	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 8-2 /06B_新垣喜盛・玉城盛善_ アルゼンチン_ブエノスア イレス	新垣喜盛//(聞き手)玉城盛善/大城立裕	インタビュー /1978.5.7	【新垣喜盛】アルゼンチン編8-1の続き。[体験談]移民調査についての意見、移民問題の解決についての考えを語る。 /10分
39	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 9-1 /08A_安里亀森ほか_アルゼ ンチン_ブエノスアイレス	安里亀森/呉屋清順/ 宮城盛厚//(聞き手) 大城立裕	座談会 /1978.5.7	[人物伝]野村流の草分けである亀森の父・安里亀栄が、アルゼンチンの琉球音楽や空手を広めた実績を語る。 /42分
40	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 9-2 /09A_安里亀森_アルゼンチ ン_ブエノスアイレス	安里亀森/呉屋清順/ 宮城盛厚/呉屋清雄/ 玉那覇[盛徳]//(聞 き手)大城立裕	座談会 /1978.5.7	アルゼンチン編9-1と内容重複。[人物伝]野村流の草分けである亀森の父・安里亀栄について語る。 /23分
41	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 9-3 /09B_安里亀森_アルゼンチ ン_ブエノスアイレス	安里亀森/呉屋清順/ 宮城盛厚/呉屋清雄/ 玉那覇[盛徳]//(聞 き手)大城立裕	座談会 /1978.5.7	アルゼンチン編 9-2の続き。 [体験談]三線会の初期メンバーや演劇会の概要などを語る。 /47分
42	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 10-1 /10B_安里亀森_アルゼンチ ン_ブエノスアイレス	池宮喜輝/安里[昌 亀]/与儀[正頭] //(聞き手)安里亀森	再録・インタ ビュー /1978	[唄]1963年12月、池宮喜輝(沖縄野村流音楽協会会長)が安里亀栄の墓前で献奏。 /(26:04)【与儀正頭】[人物伝]安里亀栄について。 /(33:25)【与儀正頭】[体験談]中城村人会の戦前・戦後の状況や邦人むけラジオ放送などの話。 /47分
43	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 10-2 /番号なしB_池宮喜輝ほか_ アルゼンチン_ブエノスア イレス	池宮喜輝/安里[昌 亀]/与儀[正頭] //(聞き手)安里亀森	再録・インタ ビュー /1978	アルゼンチン編10-1と同一音源。[唄]1963年12月、池宮喜輝(沖縄野村流音楽協会会長)が安里亀栄の墓前で献奏。 /(27:46)【与儀正頭】[人物伝]安里亀栄について。 /(33:25)【与儀正頭】[体験談]中城村人会の沿革。 /47分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
44	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 10-3 /番号なしA_池宮喜輝ほか_ アルゼンチン_ブエノスアイレス	与儀[正頭]/呉屋清雄/呉屋清順/(聞き手)安里亀森	再録・インタビュー /1978.5.7	アルゼンチン編10-1と内容重複。 /(02:10)【与儀正頭】[体験談]中城村人会のアルゼンチン独立記念行事の話。 /(07:20)[唄]呉屋清雄が、安里亀森の歌詞で「述懐節」を歌う。 /47分
45	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 11-1 /12.13A_稲嶺盛光・小那覇全正・照屋朝良_アルゼンチン_ブエノスアイレス	稲嶺盛光/小那覇全正/照屋朝良/(聞き手)大城立裕/(案内人)米須清周/新垣善太郎	座談会・インタビュー /1978.5.8	[人物伝]平良孫次郎，小那覇全吉について。 /(40:19)【照屋朝良】[体験談]1918年に又吉全政の呼寄で来た。 /65分
46	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 11-2 /12.13B_稲嶺盛光・小那覇全正・照屋朝良_アルゼンチン_ブエノスアイレス	照屋朝良/(聞き手)大城立裕/(案内人)米須清周/新垣善太郎	インタビュー /1978.5.8	アルゼンチン編11-1の後半の続き。[体験談]照屋は又吉全政の呼寄で，知念政実の紹介状を持参して来た。 /65分
47	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 11-3 /14A_金城蒲戸・知念仁和・照屋朝良_アルゼンチン_ブエノスアイレス	照屋朝良/金武蒲戸/知念仁和/(聞き手)大城立裕/(案内人)米須清周/新垣善太郎	インタビュー /1978.5.8	アルゼンチン編11-2の続き。 【照屋朝良】[人物伝]金城信義，平良孫次郎について。 /(12:52)【金武蒲戸】[体験談]ペルーからチリ経由でアルゼンチンに渡航した。 /(45:30)【知念仁和】[体験談]兄の呼寄せでアルゼンチンに渡航した。 /56分
48	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 12-1 /11-1A_宮城静夫_アルゼンチン_ブエノスアイレス	宮地勝夫夫妻/(聞き手)大城立裕/(案内人)米須清周/新垣善太郎	インタビュー /1978.5.8	[雑談]入国方法や密航ルート。平良孫次郎のダンス教室。殺害事件。幽霊話など。 /65分
49	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 12-2 /11-1B_宮城静夫_アルゼンチン_ブエノスアイレス	宮地勝夫夫妻/(聞き手)大城立裕/(案内人)米須清周/新垣善太郎	インタビュー /1978.5.8	アルゼンチン編12-1の続き。 [雑談]失敗した綿づくり，井戸堀りの事故など。 /65分
50	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 12-3 /11-2A_宮城静夫_アルゼンチン	宮地勝夫夫妻/(聞き手)大城立裕/(案内人)米須清周/新垣善太郎	インタビュー /1978.5.8	アルゼンチン編12-2の続き。 [雑談]女性問題，移民船での話，民俗学研究など。 /33分
51	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 13-1 /15.16A_大城實廣・宮里昌栄_アルゼンチン_ブエノスアイレス	大城宜彦/(聞き手)大城立裕/(案内人)新垣善太郎	インタビュー /1978.5.9	[体験談]ファスナー市場，労働問題と政治，沖縄企業の進出などを語る。 /48分
52	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 13-2 /15.16B_大城實廣・宮里昌栄_アルゼンチン_ブエノスアイレス/コルドバ	大城宜彦/宮里昌栄/(聞き手)大城立裕/(案内人)新垣善太郎	インタビュー /1978.5.9-10	アルゼンチン編13-1の続き。 【大城宜彦】[体験談]沖縄からの技術者の移住を推奨。 /(02:52)【宮里昌栄】[体験談]戦後，妻の家族の呼寄。空手道場を経営。 /39分

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
53	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 14-1 /17A_大城吉義_アルゼンチン_ゴルドバ	大城吉義//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 新垣善太郎	インタビュー /1978.5.11	[体験談]1930年にアルゼンチンに渡航し、日本人学校校長や日本人会会長や幹事も務めた。雑貨商を経て、不動産業、養鶏業など幅広く事業を行った。戦後「日本大通り」を造った。 /65分
54	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 14-2 /17B_大城吉義_アルゼンチン_ゴルドバ	大城吉義//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 新垣善太郎	インタビュー /1978.5.11	アルゼンチン編14-1の続き。 [体験談]1942年に日本人会の運動場が完成し、翌年は日本人墓を造った。 /14分
55	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 15-1 /18A_内海嘉廣_アルゼンチン_ブエノスアイレス	内海嘉彦//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 新垣善太郎	インタビュー /1978.5.13	[論説]ブエノスアイレス日本語学校の役割について語る。 /64分
56	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 15-2 /18B_内海嘉廣_アルゼンチン_ブエノスアイレス	内海嘉彦//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 新垣善太郎	インタビュー /1978.5.13	アルゼンチン編15-1続き。[論説]校舎建設の話。ブエノスアイレス日本語学校の役割について語る。 /9分
57	沖縄県系移民音声資料 アルゼンチン編 16 /19A_米須清周_不明_サンミギユール	米須清周//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 新垣善太郎	インタビュー /1978.5.14	[体験談]サンミギユール市の日本人文化活動の話。 /44分
58	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 1 /60A_平良幸市(西原村人会)/ブラジル日本文化協会_サンパウロ	松田昌太郎/在伯西原村人会/平良幸市	歓迎会 /[1973.4.3]	【松田昌太郎】[挨拶]屋良朝苗沖縄県知事来伯記念歓迎会。 /(13:27)[質疑応答]在伯西原村人会が復帰後の沖縄経済について質問し、平良幸市沖縄県議会議長に回答している。 /61分
59	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 2 /60B_西原村人会/ブラジル日本文化協会_サンパウロ	池原[盛光]/[又吉威信]//(聞き手)大城立裕	歓迎会・インタビュー /[1973.4.3-4]	【池原】[挨拶]屋良朝苗知事訪問への感謝の言葉。 /(03:10)【又吉威信】[体験談]ブラジル日本文化協会設立に関する概略。 /42分
60	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 3 /56A_金城山戸,知念宗吉_ブラジル_サンパウロ	金城山戸//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /[1973.4.5]	[体験談]1908年の第1回笠戸丸移民。沖縄県系人で歯科医第1号。儀保蒲太との友情の話など。 /34分
61	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 4-1 /57A_仲村渠義徳・助成_ブラジル_マウアー	仲村渠義徳/仲村渠助成//(聞き手)大城立裕	インタビュー・歓迎会 /[1973.4.5]	【仲村渠義徳】[体験談]1917年に渡航し、戦後はマウアーで食料品店を経営。 /(47:56)【仲村渠助成】[体験談]会食しながら二世の葛藤について語る。 /65分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
62	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 4-2 /57B_仲村渠義徳・助成_ブラジル_マウアー	仲村渠助成 //(聞き手)大城立裕	歓迎会 /[1973.4.5]	ブラジル編4-1の続き。[雑談]食材や習慣, 市場経営の話など。 /14分
63	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 5-1 /58A_山城柳吉_ブラジル_サンパウロ	山城柳吉・カメ夫妻 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /[1973.4.5]	[体験談]第3回移民として竹村移民会社から1912年に渡航した。耕地から逃亡し, 港での荷運び労働や鉄道工夫を体験。 /64分
64	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 5-2 /58B_山城柳吉_ブラジル_サンパウロ	山城柳吉・カメ夫妻 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /[1973.4.5]	ブラジル編5-1の続き。[体験談]鉄道工夫で赤嶺新野栄と知りあい, ジュキア線セードロに移住し, バナナ栽培を定着させた。 /46分
65	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 6 /59A_花城清安_ブラジル_サンパウロ	花城清安 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /[1973.4.5]	[体験談]1925年にイタリリーに移住。日本語学校教員。バナナ農園を経営。戦後は, 沖縄県人会の再結成とブラジル沖縄文化センターの設立に尽力した。 /64分
66	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 7 /56B_金城山戸, 知念宗吉_ブラジル_サンパウロ	山城照栄/知念宗吉 //(聞き手)大城立裕 (案内人)池原[盛光]	インタビュー /[1973.4.6]	【山城照栄】[体験談]戦時中のサントス強制退去の体験。 /(01:35) 【池原】[体験談]移住当初の体験や強制退去についての説明。 /(11:00) 【知念宗吉】[体験談]1912年に家族で渡航し, サントスで成長した。日本人初の自動車部品販売店を経営。 /33分
67	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 8 /59B_花城清安_ブラジル_サンパウロ	Ivo Nakao //(聞き手)大城立裕	講演会(英語) /1973	[論説]仲尾権四郎の息子。日系二世は高学歴だが, 社会的地位のある仕事についている人が少ないことを危惧している。 /6分
68	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 9-1 /20A_鈴木梯一_ブラジル_サンパウロ	鈴木梯一 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.5.17	[論説]自身の日系移民の動態調査研究に基づいて, 移民の生活文化について語る。 /65分
69	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 9-2 /20B_鈴木梯一_ブラジル_サンパウロ	鈴木梯一 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.5.17	ブラジル編9-1の続き。[論説]自身の日系移民の動態調査研究に基づいた教育, 日本語文学の現状を語る。 /17分
70	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 10-1 /22.23A_与那嶺孝晶・新垣清吉_ブラジル_カンボグランデ	与那嶺孝昌・マカ夫妻/新垣清吉 //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.5.18	【与那嶺孝昌・マカ】[体験談]1926年に妻の叔父・源河要吉の呼寄で渡航し, ピンガ酒製造などを行った。 /(46:31) 【新垣清吉】[体験談]1931年に父の呼寄でカンボグランデに移住した。 /65分

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
71	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 10-2 /22.23B_与那嶺孝晶・新垣 清吉_ブラジル_カンボグ ランデ	新垣清吉//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1978.5.18	ブラジル編10-1後半の続き。 [体験談]牧場経営や多角経営で 成功。戦時中、アルゼンチンで 収監された経験がある。戦後 は、カンボグランド県人会等を 歴任し、ボリビア移民救済に尽 力した。 /43分
72	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 11-1 /24A_友寄英芳・仲尾徳英_ ブラジル_カンボグランド	友寄英芳/仲尾徳英/ //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.5.19	【友寄英芳】【仲尾徳英】[体 験談]カンボグランドの1930年 代の状況と沿革について語る。 /(14:37)【仲尾徳英】[人物伝] 大城武盛、仲尾権四郎、源河幸 助、宮城重吉郎など。 /64分
73	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 11-2 /24B_友寄英芳・仲尾徳英_ ブラジル_カンボグランド	友寄英芳/仲尾徳英/ 大城カメ//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1978.5.19	ブラジル編12-1の続き。【仲尾 徳英】[人物伝]宮城重吉郎、山 城興栄、山城興昌、儀保蒲太、 友寄英芳など。 /(13:45)【大城カメ】徴兵忌避 について。 /22分
74	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 12-1 /21A_大城カメ_ブラジル_ カンボグランド	大城カメ//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 友寄英芳/仲尾徳英	インタビュー (しまくとぅ ば) /1978.5.19	【大城カメ】[体験談]豊見城出 身、第1回笠戸丸移民として渡 航した。夫は大城幸喜。初期ブラ ジル移民の生活を語る。 /64分
75	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 12-2 /21B_大城カメ_ブラジル_ カンボグランド	大城カメ//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 友寄英芳/仲尾徳英	インタビュー (しまくとぅ ば) /1978.5.19	ブラジル編12-1の続き。【大城 カメ】[体験談]第1回笠戸丸移 民。夫は大城幸喜。初期ブラジ ル移民の生活を語る。 /4分
76	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 13-1 /25.26A_比嘉敏夫・石川盛 得ほか_ブラジル_カンボグ ランド	比嘉敏雄/石川盛得/ 福地信久//(聞き手) 大城立裕	インタビュー ・歓迎会 /1978.5.20	【比嘉敏雄】[体験談]戦後の第 1回ボリビア移民。うるま耕地 に入植後、うるま病に罹患後ブ ラジルに転住。 /(05:12)【石川盛得】[体験談] カンボグランド連合日本人会の 沿革。 /(18:40)【福地信久】[体験談] 1917年に渡航。カンボグランド 沖縄県人会の活動の意義を語 る。 /64分
77	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 13-2 /25.26B_比嘉敏夫・石川盛 得ほか_ブラジル_カンボグ ランド	石川盛得/嘉陽相備 (宗備)/新垣稲直 //(聞き手)大城立裕	歓迎会 /1978.5.20	ブラジル編13-1の続き。【石川 盛得】[体験談]戦後の勝ち組や 敗戦組の確執について。 /(11:20)【嘉陽相備】[挨拶] /(20:30)【新垣稲直】[挨拶] /33分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
78	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 14-1 /27A_屋比久孟清その他_ブラジル_ジュキア線沿線都市	島川博司/天願繁秀/ 宮平カメ//(聞き手) 大城立裕/(案内人) 屋比久孟清	インタビュー /1978.5.23	【屋比久孟清】[人物伝]翁長助成がアンナディアスで球陽協会を立ち上げた話。 /(17:00)【島川博司】[体験談]第2回海外青年隊。 /(28:07)【天願繁秀】[体験談]ピグアアの日本人戸数。 /(32:36)【宮平カメ】[体験談]笠戸丸移民の体験。(しまくとぅば) /64分
79	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 14-2 /27B_屋比久孟清その他_ブラジル_ジュキア線沿線都市	宮平カメ/屋富祖秀実// 大城立裕/(案内人)屋比久孟清	インタビュー /1978.5.23	ブラジル編14-1の続き。【屋比久孟清】[人物伝]赤嶺新野栄,山城柳吉,宮平牛助など。 /(19:55)【宮平カメ】[体験談]宮平牛助の妻。初期移民の苦労話。(しまくとぅば) /(43:40)【屋富祖秀実】[人物伝]赤嶺新野栄,宮城利三郎など。 /64分
80	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 15 /28A_屋比久孟清その他_ブラジル_ジュキア線沿線都市	運天政助// 大城立裕/(案内人)屋比久孟清	インタビュー /1978.5.24	【屋比久孟清】[人物伝]宮城利三郎について。 /(02:37)【運天政助】[人物伝]田場ウシ,運天政行,久場真長など。 /43分
81	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 16 /29A_屋比久孟清_ブラジル_サンパウロ	仲村明治/座覇政喜// 大城立裕/(案内人)屋比久孟清	インタビュー /1978.5.25	【仲村明治】[体験談]戦後移民。移民の動機を語る。 /(16:10)【座覇政喜】[体験談]1930年に構成移民として博多丸で渡伯し,各地を転々と移動して,最終的に理容学校を始めた。 /64分
82	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 17 /29A_屋比久孟清・嶺井政重_ブラジル_サンパウロ	屋比久孟清// 大城立裕(聞き手)	インタビュー /1978.5.25	【屋比久孟清】[人物伝]山城興昌,城間善吉,津波古充雄,嶺井政重など。 /20分
83	沖縄県系移民音声資料 ブラジル編 18 /29B_屋比久孟清_ブラジル_サンパウロ	屋比久孟清// 大城立裕(案内人)屋比久孟清	インタビュー /1978.5.25	【嶺井政重】[人物伝]屋比久孟徳,城間嘉助,運天政行,栄門松,與那嶺仁五郎,金城慎義,久場真長など。 /64分
84	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 1-1 /66A_コロンビア説明会_ボリビア_コロンビア沖縄	大城一夫/玉城政福/ 幸地広/他2名// 聞き手)沖縄県議員団	座談会 /1973.4.12	[報告]コロニア・オキナワ農牧総合協同組合(略称CAICO LTDA.)の事業説明。営農と畜産問題の報告。学校教育,教員事情,綿事業について。 /64分



巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
85	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 1-2 /66B_コロナ説明会_ボリ ビア_コロナ沖縄	大城一夫/玉城政福/ 幸地広/他2名//(聞き 手)沖縄県議員団	座談会 /1973.4.12	ボリビア編1-1の続き。[報告] CAICOの事業説明。教員の労働 時間, 学校の制度・給食・保育 所, 住宅問題, 他府県の移住地 との交流, 医療費, 第3組合で 裁判中の話。 /44分
86	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 2-1 /67A_第1コロニア・第2 コロニア(友利氏)_ボリビ ア_コロナ沖縄	具志堅留美/友利金 三郎/伊集朝規/他3 名//(聞き手)大城立 裕	歓迎会・座談 会 /1973.4.13	【具志堅留美】【屋良朝苗】 【平良幸市】[挨拶] /(33:35)【友利金三郎】[体験 談]第2コロニアへの転住につ いて。 /65分
87	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 2-2 /67B_音声なし_ボリビア_ コロナ沖縄	友利金三郎/伊集朝 規/他3名//(聞き手) 大城立裕	座談会 /1973.4.13	ボリビア編2-1の続き。[体験 談]第2コロニア組合長友利金 三郎, 琉球政府ボリビア駐在事 務所初代所長伊集朝規による第 2コロニアの沿革。他国転住者 の土地の再配分について。 /65分
88	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 2-3 /69A_第1コロニア座談 会・ホセ赤嶺(2)_ボリビア _コロナ沖縄/サンタクル スの赤嶺亀自宅	西平守蔵/宮里馨/赤 嶺亀/他2名//(聞き 手)大城立裕	座談会・イン タビュー /1973.4.13- 4.14	前半45分はボリビア編2-2の続 き。[体験談]うるま耕地から第 1コロニアへの移動や医師団派 遣要請などの裏話。 /(45:30)ボリビア編4-1の続き。 赤嶺亀体験談(2)【赤嶺亀】[体 験談]ペルー山中でのゴム打 ち, 虎退治, 干肉やトウモロコ シの行商など。 /64分
89	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 3 /68A_新垣庸英・ホセ赤嶺 (1)_ボリビア_コロナ沖 縄	新垣庸英//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1973.4.14	[体験談]1916年に紀洋丸でペ ルーへ渡航。ボリビア国境でゴ ム採取などの仕事を経て, リマ で会計士の免許を取得。1952年 にペルー二世を連れて, ボリビ アに入国した。 /40分
90	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 4-1 /68B_新垣庸英・ホセ赤嶺 (1)_ボリビア_サンタクル ス	赤嶺亀(ホセ赤 嶺)//(聞き手)大城 立裕	インタビュー /1973.4.14	赤嶺亀体験談(1)[体験談]1908 年にペルー契約移民として渡 航。ボリビア国境付近の開墾事 業や, ゴム林の番人などの仕事 を経てリベラルタに定住した。 /62分
91	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 4-2 /69B_第1コロニア座談 会・ホセ赤嶺(3)_ボリビア _サンタクルス	赤嶺亀(ホセ赤 嶺)//(聞き手)大城 立裕	インタビュー /1973.4.14	ボリビア編 2-3の後半の続き。 赤嶺亀体験談(3)[体験談]ペ ルーからリベラルタへ転住し, 新たな行商の仕事でサンタクル スに行った。1918年にラパスで 購入したものをサンタクルスで 売って儲けた。 /64分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
92	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 4-3 /70A_ホセ赤嶺(4)_ボリビア_サンタクルス	赤嶺亀(ホセ赤嶺) //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1973.4.14	ボリビア編 4-2の続き。赤嶺亀体験談(4)[体験談]1923年に強盗に遭って帰省を諦めた。強盗団をアルゼンチンまで追いかけて捕まえた。巻煙草の製造。現地女性との結婚。戦後移民の受入事業について。 /64分
93	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 4-4 /70B_ホセ赤嶺(5)_ボリビア_サンタクルス	赤嶺亀(ホセ赤嶺) //(聞き手)大城立裕	インタビュー /1973.4.14	ボリビア編4-3の続き。赤嶺亀体験談(5)[体験談]戦後移民の受入事業について、ティグナー博士との交渉、移民事業詐欺事件、国有地払い下げ、受入準備、うるま病発生までの話。 /64分
94	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 5 /71A_安里良子_ボリビア_ラパス	安里良子//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1973.4.15	前半30秒、パレード音楽。 /(00:31)[論説]ラパス日本大使館でボリビアの社会事情について。 /(34:25)ラパス観光。(スペイン語) /62分
95	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 6-1 /30A_第2コロニア組合役_ボリビア_コロニア沖縄	玉城輝俊/山城興喜/ 他6名//(聞き手)大 城立裕	座談会 /1978.5.30	[体験談]初期移民から1960年代に至る移住者受入事業について。移民小屋建設、医療不足、米作や綿作、営農への未来などについて。 /64分
96	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 6-2 /30B_第2コロニア組合役_ボリビア_コロニア沖縄	玉城輝俊/山城興喜/ 他6名//(聞き手)大 城立裕	座談会 /1978.5.30	ボリビア編6-1の続き。[体験談]初期移民は食料品と日用品購入の資金援助を受けた。ボリビアでの生活には道具がなくて苦労した。野生動物は何でも食べた。 /64分
97	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 7-1 /31A_玉城輝俊_ボリビア_コロニア沖縄	玉城輝俊・正子夫妻 /山城興喜//(聞き 手)大城立裕	報告会・歓迎 会 /1978.5.30	[報告]第2コロニア組合長の玉城輝俊と、国際協力事業団オキナワ事業所所長の永山盛章が参加して、CAICOの事業報告会。 /(53:42)【玉城輝俊・正子夫妻】[雑談]寄生虫に悩まされた話。 /64分
98	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 7-2 /31B_玉城輝俊_ボリビア_コロニア沖縄	玉城輝俊/玉城正子 //(聞き手)大城立裕	歓迎会 /1978.5.30	ボリビア編7-1後半の続き。 【玉城輝俊・正子夫妻】[雑談]家屋造り、土地の開拓、米収穫と墓参り、道造り、水の確保など。移住地での子育てについて。 /38分

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
99	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 8-1 /32A_新城松成ほか_ボリビア_コロニア沖縄	第3コロニア移住者 /新城松盛//(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.5.31	[体験談]第14次移住者で、第3コロニアの入植当時の様子を話。先輩移住者が井戸を掘ってあったので、水事情は第1、第2よりは良かったと話す。 /64分
100	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 8-2 /32B_新城松成ほか_ボリビア_コロニア沖縄	第3コロニア移住者 /新城松盛//(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.5.31	ボリビア編8-1の続き。[体験談]コロニアの農業事情について。大豆の利用価値、現地のサトウキビ酒、子ども達の言語について。 /64分
101	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 9 /33.34A_長嶺ヨシ・宮城得昌_ボリビア_コロニア沖縄	石丸泰樹/具志堅興貞//(聞き手)大城立裕	講演会・報告会 /1978.6.1	[講演]大城立裕がコロニア小・中学校の沖縄人生徒に向けての講演。 /(40:46)【石丸校長】【具志堅組合長】[解説]学校事情の説明。 /57分
102	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 10 /33.34B_長嶺ヨシ・宮城得昌_ボリビア_コロニア沖縄	長嶺ヨシ/宮城徳昌//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.1	【長嶺ヨシ】[人物伝]長嶺盛良の人物像を妻ヨシとその子供達が語る。 /(35:47)【宮城徳昌】[人物伝]島袋庄七郎、久場良明など。 /65分
103	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 11-1 /34A_宮城得昌_ボリビア_コロニア沖縄	宮城徳昌・トシ夫妻//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.1	【宮城徳昌・トシ夫妻】[体験談]第3次移民。初期移民の体験。二世の国籍問題。移民の動機など。 /57分
104	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 11-2 /34B_宮城得昌_ボリビア_コロニア沖縄	宮城徳昌/第2コロニア移住者//(聞き手)大城立裕	歓迎会 /1978.6.1	ボリビア編11-1の続き。[体験談]移住当初の体験を語る。将来の水利組合や電気事業についての組合組織や行政組織としてのオキナワ村の設置について。 /64分
105	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 12-1 /35A_宮城得昌_ボリビア_コロニア沖縄	大城一夫/幸地広/他1名//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.2	【大城一夫】【幸地広】[体験談]大城一夫と幸地広は大城立裕の野嵩高校教員時代の教え子で当時の思い出話と近況報告。 /64分
106	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 12-2 /35B_宮城得昌_ボリビア	大城一夫/幸地広/宮城徳昌/柏尾//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.2	ボリビア編12-1の続き。[雑談]パルメディーヤとサンファンへ行く車中でみた風景の話。 /(14:36)【サンファン柏尾所長】[解説]灌漑農業や綿作への対応。 /51分

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について

(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
107	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 13-1 /36A_新垣庸英ほか ボリビア_サンタクルス	儀間ツル子/仲村静子(旧姓: 諸見里/久場良陳/新垣庸英)/(聞き手)大城立裕	座談会・インタビュー /1978.6.3	[人物伝]儀間真徳, 諸見里朝清, 赤嶺亀, 久場良明, 新垣庸英など。戦後初期のボリビア開拓移住者の功績や人柄について。 /(32:00)【新垣庸英】[体験談]初期ボリビア移民の体験を語る。 /64分
108	沖縄県系移民音声資料 ボリビア編 13-2 /36B_新垣庸英ほか ボリビア_サンタクルス	新垣庸英/儀間ツル子/仲村静子(旧姓: 諸見里)/久場良陳/当真徳善/(聞き手)大城立裕	インタビュー・座談会 /1978.6.3	ボリビア編13-1後半の続き。【新垣庸英】[体験談]ボリビア国境でゴム採取などの仕事を経て, リマで会計士の免許を取得。戦後1952年にペルー二世を連れて, ボリビアに入国した。 /(19:20)[人物伝]儀間真徳, 諸見里朝徳, 当真徳善, 久場良明など。 /56分
109	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 1 /64A_八木宣貞・リマ領事(1)_ペルー_リマ	八木宣貞/(聞き手)大城立裕	インタビュー /1973.4.17	[体験談]ペルーで屋宜を八木に改名。ペルーへ渡った経緯と, 郷里首里市と那覇市の合併について。 /54分
110	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 2 /65A_リマ領事(2)_ペルー移民座談会_ペルー_リマ・ペルー領事館	斉藤武領事/伊芸銀勇/他5名/(聞き手)大城立裕/沖縄県議員団	座談会 /1973.4.17	[体験談]沖縄県系移住者の現状の確認。また, 斉藤領事から沖縄県会議員へ日本人学校への補助要請。沖縄の戸籍問題について。 /48分
111	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 3-1 /37.38A_仲田忠司・山川宗英_ペルー_リマ・日秘文化会館	仲田忠司/山川宗英/(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.7	【仲田忠司】[体験談]ペルー中央日本人会事務局長。ペルー日本文化会館にて日本語講座を開設。日本語教育, 日本文化の普及に尽力した。 /(24:20)【山川宗英】[体験談]カタクチイワシ水産業で成功し, 缶詰工場などを経営した。 /64分
112	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 3-2 /37.38B_仲田忠司・山川宗英_ペルー_リマ[缶詰工場]・養老院[エンマヌエル協会]	山川宗英/(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.7	ペルー編3-1の続き。【山川宗英】[体験談]ペルーにおける日本国及び日系移民が貢献した水産業の発展について語る。 /(09:59)話者不明。養老院, カヤオ日本人学校での調査。冒頭2分9秒はスペイン語。 /29分
113	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 4-1 /39A_池宮城秀長・伊芸銀勇・仲宗根敏夫_ペルー_リマ	池宮城秀長/伊芸銀勇/仲宗根敏夫/(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.6.8	[体験談]ペルー日系人移民社会の沿革と, 排日運動などを語る。 /64分

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
114	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 4-2 /39B_池宮城秀長・伊芸銀 勇・仲宗根敏夫_ペルー_リ マ	池宮城秀長/伊芸銀 勇/仲宗根敏夫//(聞 き手)大城立裕	座談会 /1978.6.8	ペルー編4-1の続き。[体験談] 沖縄救援会発足の経緯。戦後の 勝ち組、負け組。勝ち組の代表 者について。 /54分
115	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 5-1 /40A_仲地・翁長・当山・ 天願_ペルー_リマ	仲地栄松/翁長良真/ 當山全成/天願詠吉 //(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.6.8	[体験談]1940年と1975年の排日 暴動について。 /65分
116	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 5-2 /40B_仲地・翁長・当山・ 天願_ペルー_リマ	仲地栄松/翁長良真/ 當山全成/天願詠吉 //(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.6.8	ペルー編5-1の続き。[体験談] 略奪に参加した階層と土地改 革・農地改革の関係性につい て。 /65分
117	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 6-1 /42A_田場山戸その他_リマ	島袋盛徳//(聞き手) 大城立裕	朗読 /1978.6.9	[朗読]『琉球新報』1980年1月 11日～30日で14回連載された田 場山戸の人物伝「アマゾンに生 きた砂金王」の読み上げと、補 足情報。 /64分
118	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 6-2 /42B_田場山戸その他_リマ	島袋盛徳//(聞き手) 大城立裕	インタビュー /1978.6.9	ペルー編6-1の続き。[人物伝] 田場山戸のことや、島袋の著作 物、作家、作品などについて語 る。 /64分
119	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 7-1 /41A_比嘉・天願・岸本・ 具志堅_ペルー_県人会館	比嘉恵夫/天願庄太 郎/岸本広安/具志堅 興信//(聞き手)大城 立裕	座談会・イン タビュー /1978.6.9	[体験談]1940年の排日暴動につ いて。 /(19:57)【具志堅興信】[体験 談]1929年の安洋丸で移民し て、雑貨商で働いた。政治不安 で暴動が多かった。 /64分
120	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 7-2 /41B_比嘉・天願・岸本・ 具志堅_ペルー_県人会館	比嘉恵夫/天願庄太 郎/岸本広安/具志堅 興信//(聞き手)大城 立裕	座談会 /1978.6.9	ペルー編7-1の続き。[体験談] 日本企業から派遣人材につい て。 /4分
121	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 8-1 /43.44A_池宮城秀長・仲宗 根安善・具志堅善光_ペ ルー_リマ	池宮城秀長/仲宗根 安善/具志堅善光 //(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.6.11	[人物伝]徳村正義や仲地栄松な ど。 /64分
122	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 8-2 /43.44B_池宮城秀長・仲宗 根安善・具志堅善光_ペ ルー_リマ	池宮城秀長/仲宗根 安善/具志堅善光 //(聞き手)大城立裕	座談会 /1978.6.11	ペルー編8-1の続き。【具志堅 善光】[人物伝]暴動事件での日 系人同士の争いや自警団で店を 守った話など。 /44分

巻数	資料名 /副題	話者//聞き手	採録形式 /採録年月日	内容 /採録時間
123	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 9-1 /45A_池宮城秀長_ペルー_ リマ	池宮城秀長//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.11	[体験談]1927年に渡航し、古物商を経営。1940年の暴動では自警団で生活を守った。大戦中、邦人の資産凍結、店の接収、団体幹部の隔離を体験。戦後は、在留県人の発展に尽力した。 /64分
124	沖縄県系移民音声資料 ペルー編 9-2 /45B_池宮城秀長_ペルー_ リマ	池宮城秀長//(聞き手)大城立裕	インタビュー /1978.6.11	ペルー編9-1の続き。[体験談]ペルー移民は他の南米に比較して、精神的苦勞が多く、今でも不安定。税金は日本や他国に比べると安い、50年経っても移民への意識は変わらない。 /5分

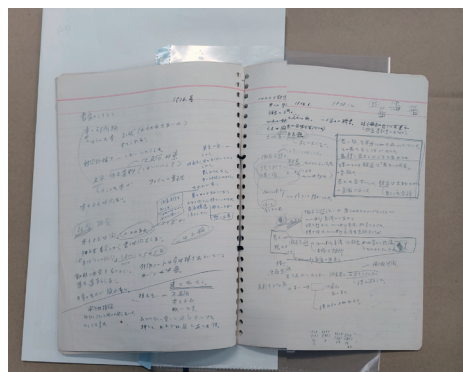
## V. おわりに

大城は、海外調査時のノートやメモ、写真スライドなども資料として残している（画像6～9）。

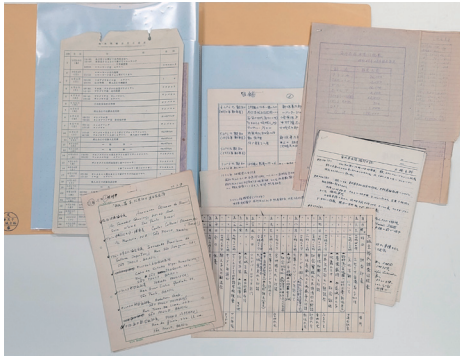
それらの資料は、整理の際に時系列の確認や、音声資料内では名前が判明しなかった人物の特定などに活用できた。また、写真スライドには、実際に大城が見聞きした被調査者の生活や素顔が映しだされており、写真と音声を有機的に結びつけることによって、被調査者の実像を音声とともに紹介することができると考えている。今後、これらの資料は県立図書館郷土資料室内で公開していく予定である。県内外の研究者をはじめ、海外県系人、県民など多くの方に活用してもらうことを期待している。



画像6 『大城立裕創作ノート』19, 20, 21  
資料ID：1005005143, 1005005150,  
1005005168



画像7 『大城立裕創作メモ類 23』  
小説類メモ  
資料ID：1005247414



画像8 移民史料調査準備資料  
資料ID: 1004791800



画像9 『大城立裕撮影スライドフィルム3  
ポリネシア・南米・ハワイ 1978』  
資料ID: 1009595313

## 注

- 1) <https://www.library.pref.okinawa.jp/notice/post-44.html> 世界のウチナーンチュの日関連企画展示「ポリネシアに生きる——日系社会の中のウチナーンチュ」開催期間: 2020年10月7日(水)～11月9日(月), 会場: 沖縄県立図書館4F交流ルーム
- 2) <https://www.library.pref.okinawa.jp/tenji/post-19.html> 「小説『ノロエステ鉄道』とブラジル・カンボグランデの沖縄県系人」開催期間: 2021年10月20日(水)～11月8日(月), 会場: 沖縄県立図書館4F交流ルーム
- 3) 大城立裕(1925年9月19日生～2020年10月27日没) 沖縄県中城村出身。戦後、小説家として活動する傍ら、高校教員を経験後に琉球政府に就職した。1967年『カクテル・パーティー』で芥川賞受賞した。復帰後は沖縄県庁職員として沖縄県史編纂に取り組み、沖縄県立博物館館長も勤めた。大城が収集した資料は、沖縄県公文書館および沖縄県立図書館に寄贈され、大切に保管されている。
- 4) <https://www.library.pref.okinawa.jp/archive/Data/cat37/library06.html> 沖縄県立図書館貴重資料デジタル書庫「2010年開設大城立裕文庫」
- 5) 石川友紀著「移民関係文献目録」『沖縄県史料編纂所紀要』創刊号 PP130-143.
- 6) 大城立裕著「第二回南米移民資料調査について」『沖縄史料編集所紀要』第4号 PP87-102。及び『大城立裕創作ノート』19「南米旅行メモ」表紙裏に大城自筆の1978年の調査旅程書き込みあり。
- 7) 大城立裕/作, 久米明/朗読『ノロエステ鉄道[音声CD]』所収「大城立裕インタビュー」M.A.P. 2009年発行
- 8) <https://www.library.pref.okinawa.jp/tenji/post-24.html> オンライン企画展「小説『ノロエ

沖縄県立図書館における沖縄県系移民音声資料の整理と活用について  
(早瀬 千明・原 裕昭・糸数 建・與那原 千晴・城間 明秀)

ステ鉄道』とブラジル・カンボグランデの沖縄県系人」

- 9) <https://www.library.pref.okinawa.jp/gyoji/7.html> 第7回世界のウチナーンチュ大会連携イベント「ルーツを探して！世界のウチナーンチュの足跡」開催期間：2022年10月12日（水）～11月7日（月），会場：沖縄県立図書館3Fフロア

(はやせ ちあき，はら ひろあき，いとかず つよし，よなはら ちはる，  
しろま あきひで・沖縄県立図書館)